

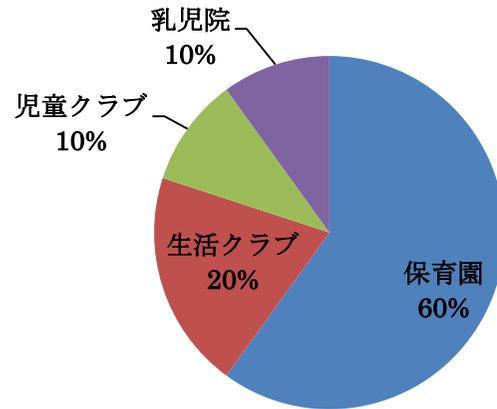
## 「発達や行動が気になるお子さんを支援する支援者へのサポート」の具体的なサポート例

### ・子どもの見立てと環境設定のサポート例（1日バージョン）

		秩父学園サポート職員（2, 3名程度）	依頼機関（保育園・乳児院・児童館等）
訪問前		対象児と相談内容についての聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申込書の提出</li> <li>・ 相談内容や対象児についての説明</li> </ul>
訪問日	AM～昼食場面 （2時間程度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象児と活動の観察</li> <li>・ 支援者からの聞き取り</li> </ul>	普段の活動設定
	1時間程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察内容の共有</li> <li>・ アドバイスの内容検討</li> </ul>	
	PM（1～2時間程度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の支援についてアドバイス</li> <li>※支援者と話し合いながら具体的な支援方法を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秩父学園職員と今後の具体的な支援方法について検討</li> </ul>
アフターフォロー （訪問もしくはWEB）	約3～4ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進捗状況の確認</li> <li>・ 実施した支援と対象児の変化について振り返り</li> <li>・ 支援者と今後の支援について再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進捗状況の報告</li> <li>・ 進捗状況の確認</li> <li>・ アドバイスを受けて実施した支援について、対象児の変化について報告</li> <li>・ 今後の支援について、秩父学園職員と再検討</li> </ul>
	アフターフォロー 一終了後		アンケートの提出

※半日で観察のみを実施して、アドバイスは後日の場合もあり。

子どもの見立て・環境設定のサポート申し込み割合（事業種別）  
（令和2年12月～令和4年8月）



・研修会実施例（講師派遣）

・「発達が気になる子への関わりについて」

- ・ 児童館・児童クラブ職員を対象に、事前に質問を受け付け、質問に回答すると共に支援への考え方や、講師が普段心がけていることをお伝えした。
- ・ 保育士対象に、発達ที่気になる子の特性・応用行動分析・環境設定について、秩父学園通園療育での支援の例をお伝えした。